

2022年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
32402	企業・経営のしくみ Corporate System	古橋 敬一		専門	2	選択	1・2前期
科目の概要							
この授業では、企業及びその経営についてのしくみの基礎を学びます。受講者は就職活動に役立つ基礎知識を身につけることができ、また学んだことを将来に応用し、活かすことが期待されます。企業や経営といっても、人と人の関係からなる組織をどう理解し、また動かしていくのが要です。初めから「難しい」と決めつけず、理解しようという気持ちを持ち（主体性）、授業を聴き（傾聴力）、何故かを考えてみる（課題発見力）が大切です。これらを通じて、建学の精、社会人基礎力、pisa型学力の修得も目指します。							
学修内容				到達目標			
① 会社、企業の特徴、働きを理解する。 ② 企業経営にとって必要なこと、求められることを理解する。				① 企業経営のしくみを説明することができる。 ② 日々報道される企業に関する報道に関心を持ち、より深い企業研究ができる。また企業で働く際に求められる知識を得ることができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	シラバスを使って、次回の授業内容を確認する。課題シートは必ず実行し提出する（欠席した場合は欠席課題とするので後日提出する）。					
	働きかけ力						
	実行力	課題レポートは期限内に提出することができる。					
考え抜く力	課題発見力	課題レポートのテーマを自分なりに考え、選ぶことができる。					
	計画力						
	創造力	課題レポートに自分なりの意見を考え、書くことができる。					
チームで働く力	発信力	教員からの発問に自分の意見を述べ、伝えることができる。					
	傾聴力	教員はどのようなことを言っているのか考えながら聴き、大事なことはメモを取りながら聴くことができる。他の学生の発言に耳を傾け、自分の意見との違いを考えることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	遅刻・無断欠席をせず、授業が円滑に進むようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
テキスト：使用しない。プリントを適宜配布する。 参考文献：マネジメント ダイアモンド社 2000円							
他科目との関連、資格との関連							
他科目との関連：ビジネス・スタディユニットの各科目 資格との関連：ビジネス実務士							
学修上の助言				受講生とのルール			
① 講義形式を中心とするが、受講生の参加（授業中の発言、グループワークでの積極性）を求め、評価に反映する。 ② 授業で学んだことを基に、自分の周り（テレビ・インターネット・新聞等含む）にある経済の動きを観察し、自分なりに考えてみるようにする。				① 授業で配布する資料は原則、受講生の人数分のみを用意するので、保管には十分注意する。 ② 授業を3回以上欠席した場合は、担当教員と連絡を取った上で補習・助言を受ける。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓	（レポート試験）問題を1つ選び、その原因と解決策についての意見を述べる（1,600字） ① 授業で紹介した用語、基礎知識を理解しているかを評価する。 ② 現実にかかる問題を学んだ知識で考えることができるかを評価する。 （傾聴力、課題発見力、創造力）		
				②	✓			
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
		レポート		20	①	✓		企業研究レポート ・授業で学んだ知識を応用し、企業経営に関する事例を分析・紹介する。 ・単なる切り貼りで自分の意見が見えてこないものは5～15点減点する。 （実行力、課題発見力、創造力）
					②			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①					
			②					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性）シラバスを使って、次回の授業内容を確認する。課題シートは必ず実行し提出する（欠席した場合は欠席課題として後日提出）。 （実行力）課題レポートは期限内に提出することができる。 （課題発見力）課題レポートのテーマを自分なりに考え、選ぶことができる。 （創造力）課題レポートに自分なりの意見を考え、書くことができる。 （発信力）教員からの発問に自分の意見を述べ、伝えることができる。授業の毎回の課題シートに自分の学べたことや意見をまとめることができる。 （傾聴力）教員はどのようなことを言っているのか考えながら聴き、大事なことはメモを取りながら聴くことができる。他の学生の発言に耳を傾け、自分の意見との違いを考えることができる。 （規律性）遅刻・無断欠席など学習意欲欠如きたす行動をせず、授業が円滑に進むようルールを守ることができる。欠席した場合は欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
				②				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S（秀）：企業経営のしくみを理解し他のケースにあてはめて考えることができる（課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問（記述式）に答えることができた）</p> <p>A（優）：企業経営の仕組みを理解し説明することができる（課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問（記述式）に答えることができた）</p>	<p>B（良）：授業で紹介した企業経営の事例を説明することができる（課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問（記述式）に答えることができた）</p> <p>C（可）：授業で紹介した企業経営の事例を十分ではないが、説明することができる（課題レポートを作成することができた。筆記試験で該当する設問（選択式・用語記入式）に答えることができた）</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション、企業は誰のものか、経営の目的と使命について学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	企業が社会の公器であることを理解する。	社会の公器としての企業の目的と使命について自分なりの言葉で表現できるようにまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	人を大切にする経営のステイクホルダーとしての関係者を把握する	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	人を大切にする経営の概念を理解し、その対象となる関係者が誰かを理解する。	人を大切にする経営の「人」とは誰かを説明できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	マネジメントと経営者について、リーダーシップ論に関連させて学ぶ	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	経営者とは何かを理解し、リーダーシップ論、組織マネジメントの視点について理解する。	経営者とは何かを理解し、リーダーシップ論、組織マネジメントの視点について理解し、説明できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	「市場を創造する企業」についての概念を学ぶ	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	市場の景気に左右されるのではなく、市場そのものを創造する企業のあり方とそのマネジメントについて理解する。	市場創造業としての企業について自分の言葉で説明できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	価格競争型経営の限界	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	価格競争がエスカレートすると、どのような事態におちいるのかを理解する。	価格競争の限界を理解し、やっつけられない競争、やるべき競争を理解する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	マネジメントと知識創造のプロセスについて学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	知識創造のマネジメントプロセスを理解する。	知識創造のマネジメントプロセスを理解し、説明できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	利益とは何かについて、人を大切にする経営というコンセプトから評価する方法について学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	人を大切にする経営というコンセプトを理解し、利益を見定める方法を理解する。	コンセプトに基づいた業績評価の視点について理解する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	マズローの欲求段階説を理解し、その先にある人間の社会貢献の欲求について学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑 応答の回答を通して フィードバック	マズローの欲求5段階説と人間が持つ社会貢献への欲求との関係性を理解する。	心理学的視点からマネジメントを考察し、自分の言葉で説明できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	働きがいをもつ経営について、人材育成の視点から考察し、その特徴を学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	働きがいをもつ経営について、人材育成の視点から理解する。	働きがいをもつ経営について、人材育成の視点から理解し、説明できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10	変化に対応する経営のあり方について学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	環境適応のマネジメントについて理解する。	環境適応のマネジメントについて理解し、説明できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11	経営理念を、企業の存在目的や使命の視点から考察し、学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	経営理念について、企業の存在目的や使命の視点から理解する。	経営理念について、企業の存在目的や使命の視点から理解し、説明できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	人が育つ経営に有用な仕組みや仕掛けについて学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	人の成長の総体を企業の成長発展として把握し、その仕掛けや仕組みを理解する。	人と組織が成長する仕掛けや仕組みを理解し、説明できるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	問題解決に向けての7つのアプローチのうち3つを学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	問題の捉え方が複数あることを把握し、3つのモデルを理解する。	問題の捉え方が複数あることを把握し、3つのモデルを理解し、正しいモデルを選べるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	問題解決に向けての7つのアプローチのうち4つを学ぶ。	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	問題の捉え方が複数あることを把握し、4つのモデルを理解する。	問題の捉え方が複数あることを把握し、4つのモデルを理解し、正しいモデルを選べるようにする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15	総括	講義 予習・復習成果を質疑応答の回答を通してフィードバック	ここまでの講義の一つ一つのトピックの有機的な接続について理解する。	プリントやノートを再読し、自己の考えをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力